

いぶき 2011年4月(西宮)

平成23年(2011年)4月

西宮老人福祉センターニュース

第144号 (2)

「人と化学をむすぶ会」

から

用海校区

池田町

井上 靖彦

環境省のボランティア制度、環境カウンセラーに登録したご縁でものづくり現場の会社勤めを終えた、化学や環境の技術者OBの有志六人が活動しています。環境問題は、ほとんどが、化学と関係している分かります。身近な生活に結び付けて、「なるほど」と思って貰えるような環境理科実験をしています。まさに「ためして合点」の精神です。ひょうご環境創造協会の支援を得た出前講座として、あるいは長年のご縁からのリクエストにこたえて、年二十回ほど県内各地の学校、自治会、イベントなどに出向いています。対象は、大人はもちろん幼児から高校生まで、それぞれに内容を工夫して実施しています。

技術者の集まりだけに、内容はどんどん深化、発展しており、最近では、二酸化炭素の実験に分子の動きを取り入れたり、水中生物との繋がりがや、スギ花粉、新燃岳の降下灰、黄砂などに、レパトリリーを上げています。水中の酸素濃度を測定したら、酸素の溶解度より高い溶存酸素があることに驚いたことがあります。太陽光線を浴びると水中の藻が炭酸化合物をよ

って酸素を発生していることが分かりました。自然界は分からない事だらけで、不思議いっぱいですがそれが身近に転がっています。一歩深く近づくと、それまで分からなかったことが、どんどん見えてきます。歳をとっていることを忘れて夢中になれる。そして、それを紹介して、参加者が「なるほど」と喜んで頂いたとき最高です。悩みはリクエストが増える割にメンバーが少ないことです。このボランティア活動に興味のある方は、ふるって参加していただきたいと思えます。「人と化学をむすぶ会」 ☎〇七九四一八四一 一六四〇渡邊雄一代表までご連絡ください。



ラ・ヴィーダ西宮(池田町)実験風景